

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームみのり中の島・ひまわり館	評価実施年月日	平成 19年 6月 12日
評価実施構成員氏名	簾内 裕子 佐々木 育子 廣部 文子 太田 美佐子 大塚 裕司 宮脇 マヤ 野坂 久美子 藤田 祐希		
記録者氏名	簾内 裕子	記録年月日	平成 19年 5月 12日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の意義を確認し、事業所、職員全体で実践していくための理念を作り上げている	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を申し送りの時に述べるようにしており、職員が実現に取り組んでいます	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	開設時に地域の方々に集まっていただき、グループホームの説明や今後の交流について話し合いを行いました。今後も折に触れ、私たちの理念を、具体的な形(みのり通信や運営推進会議など)で理解していただけるよう努めています	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板の受け渡しや日常的な散歩、お買い物の時など、ご近所の方と挨拶を交わしたり、お話しする機会は増えています	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し町内の清掃や花壇作りなど、地域の行事等に積極的に参加している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会の方々の、お年寄りの介護や、介助についての悩みの相談をお受けしています。	○	お年寄りの介護や、介助についての技術的な指導など、お手伝いできることをお知らせして、地域への貢献ができればと考えています
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、それを参考に、改善に向けての検討会や実践につながるための取り組みを行っています	○	外部評価の結果を詳細に検討し、次のステップへの指針としたいと思っています
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度運営推進会議を開いており議事録を全ての職員が確認しサービス向上に活かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型のサービスには、市との密接な連携が欠かせません。今までの管理者会議とFAXや郵送による通達という一方通行でなく、私たちからも発信するシステムが必要だと思われまます。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域の成年後見人制度の研修等に参加し、職員への説明、研修なども行っているが、現状で利用者の中に成年後見人が必要と思われるケースが見あたらない為、職員の理解が不十分で、すぐ支援できる十分な体制とは言えません。	○	地域福祉権利擁護事業、成年後見人制度の理解に努め、必要とする利用者へこの制度を活用するため、関係機関に橋渡しができるようにします。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全ての職員が虐待の意味を理解しており、見過ごされる事がないよう防止に努めており、虐待はない	○	どんな小さな虐待の芽であっても、それを見つけた時は組織全体でつみ取る決心をしています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に実行しています	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者個々に担当者がおり、担当者を中心に意見・不満・苦情等あった場合、その都度受け止め、職員間で情報を共有し、満足頂けるよう努めている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時、又急用の場合は電話で日々の様子や変調等お知らせしており、預かり金支払い状況は毎月15日に、預かり金台帳のコピー、領収書原本をご家族へ郵送し報告している	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を数ヶ所に設置している(上と下の玄関)。出された意見要望等はミーティングで話し合い、反映させています	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	社内ホームページで自由に意見交換ができる体制がある	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の意見を尊重した暮らしを支えられるよう、利用者のペースに会うような職員のローテーションを組んでいます	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット固定のスタッフによるシフトが基本だが、月数回は他のユニットの利用者と馴染みの関係が築けるよう、他ユニットへの勤務のシフトとなっている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ研修の参加や毎月1回外部から講師を招いての研修、看護師による救急研修等、環境は整っている	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム大会への参加や社外の研修への参加、同業者との交流による情報、知識を社内に貫流することにより、サービスの向上に取り組んでいる	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	全職員を対象としたストレスの解消策などは、今のところ行っておりませんが、今後検討していきたいと思っています	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格手当、報償手当等充実しており、スキルアップの励みになっている。また賞与には査定制度を設け、個々の努力に応えている	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談で本人の生活状況を詳しく、正確に把握するように努めている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族からお話を聞き、今一番困っているのは何かなど、十分に傾聴し、それを受け止め、信頼関係を築くように努めている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、一番必要な支援を見極めるように努めるが、満室時は併設のデイサービスを勧めたり、他のサービス利用などとの調整を行う		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時のご家族に泊まっていただくなど、ご本人が安心して、できるだけ早くなじんでもらえるよう努め、またご家族に記入してもらってセンター方式の情報シートを入居者との関係づくりに活用している	○	なじみの関係が出来るまでは時間のかかるケースもあるため、事前に事業所として出来ること出来ないことをよく話し合い、ご家族や関係者等にご協力をお願いしている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	それぞれ出来ることを手伝ってもらったり、アドバイスをしてもらおう等、得意分野で力を発揮してもらい共に支え合う生活を大事にしている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	細かいことでも報告し、本人にとってよりよい状態にするため相談している	○	利用者の情報をご家族にきめ細かく伝えることで、親密な協力体制が築けるのではと思います。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、家族の両方から話を聞き、連絡相談することで関係の維持に努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	町内会の馴染みの人や、お友達など良くお見えになり、職員は笑顔で迎え、居心地の良い環境作りに努め、馴染みの方々との関係継続を支援している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ホールへあまり出ず、居室にこもっている方には声かけし、入居者同士会話が出来るよう間をとりもっている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了しても、いつでも何かあったらご相談くださいとの声かけや挨拶などはかかさず行うようにしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人と普段の会話のなかで色々と話や希望を聞き、なるべく意向に沿えるよう努めている	○	外食や買い物など個別に支援している
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に書いていただいたセンター方式の情報シートで、おおよその全体像は把握しているが、入居してからも本人やご家族から今までの生活歴を聞き、記録に残すようにしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に見守りし心身の変化や体調不良に気づけるようスタッフ間で協力している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面談などを交えて、出来るだけ家族の意見を反映するようにし、希望や要望を含めて入所者ともよく話し合います		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1～2回のミーティングにと日々のショートミーティングで、スタッフ同士情報・意見を出し合い見直しを行っている。又、家族と情報を共有し、アドバイスを頂きながら介護計画を作成している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、食事・水分量・排泄等、身体的状況及び日々の暮らしの様子や本人の言葉・エピソードなどを記録している。得た情報は職員間および家族との共有を徹底している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援には臨機応変に対応し、入居者・ご家族のニーズに応えられるように努めている	○	訪問診療医や訪問看護師との連携により、利用者にとって負担となる受診や入院の回避、医療処置を受けながらの生活の継続等、医療との綿密な協調体制を心がけている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方は定期的に来訪され、入所者の様子を尋ねていって頂いており、また運営推進委員会の構成員となっております。地域の消防署には、避難訓練などでの立ち会い指導を頂くなど連携をとっています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	散歩時、町内会の祭りの時のカラオケの練習を見たり、地域の方々とも交流を行えるよう支援している。また訪問理美容サービスを利用している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括センターの職員が参加するようになって、情報交換がすむ一歩になり、協力頂ける体制がととのった	○	地域のネットワーク作りに積極的に取り組んでいこうと思います
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回提携クリニックの医師の訪問診療を受け、緊急時には素早く対応できる体制になっている。ただし本人・ご家族が希望する「かかりつけ医」への受診にはそれに応じて対応しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご本人・ご家族と相談、情報共有しながら、認知症専門医、内科医の受診、処方、治療をうけられる支援をしている。	○	認知症のケアに当たる際のアドバイスを介護員が医療機関より容易に受けられる体制をつくっていきたい
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者(入居者)をよく知る訪問看護師が週1回来所しており、介護職員と看護師とは気軽に相談できる関係ができており、日ごろの健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先にはお見舞いに行き、入居者の状況を把握し、早期に退院できるよう医師やご家族とも相談し、また戻ってからのリハビリ等支援の方針などの準備を行っている(会社内の作業療法士等に相談)		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応を、ご家族・医師・看護師を交えて話し合い、統一した方針で対処するようにしている	○	グループホームでのターミナルケアとはどういうものなのか事業所全体で学習していきたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期の利用者に対しては、ご本人、ご家族の意向をふまえ、医師・看護師との連携を密にとりながら、安心して過ごせるよう支援する	○	重度や終末期の利用者を支えるため、チームとして連携を強めるためや職員の力量を付けるため、学習を重ねていく
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい住まいでもこれまでの暮らしやケアの継続が保たれるよう、生活環境・ライフヒストリーなどをアセスメントし、プライバシーに配慮しつつ個々の生活を尊重している	○	センター方式をより活用する

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全ての職員が個人情報の保護の徹底に努め、入所者の尊厳を大切にしている	○	目立たず、さりげない言葉かけや対応に配慮し、利用者が傷つかない思いやりのある介護を心がけたい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者本人が選択し、自分で決められるような、声かけ配慮を行っている。また、コミュニケーションを多くとったり、表情を観察し、見えない又は聞こえない訴えを聞くように努めている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や散歩など、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。また、その人の得意なことを発揮できるような場面づくりに努めている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容にて、入居者本人と相談しながらおしゃれを楽しめる支援をしている。またご家族が入所者の髪をカットしている方もいる。本人の希望時にお化粧品やマニキュアも楽しんでもらっている	○	施設外でも本人の望む店があればいけるよう支援したい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事がよりよいものになるよう入所者、職員から意見を出してもらっている。また一緒に食事準備し、手作りのメニューも取り入れている。料理について入居者からアドバイスを受けていたりしている	○	月に1, 2回は全員で出かけて外食を楽しみ、また出前の日をもうけている。他に個々の外食にも対応している
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコは防災上全館禁煙の為ご協力いただいている お酒は本人の体調等もあるため、医療機関、家族と連携しあい検討している	○	トラブルにならないよう出来る限り本人が好むものを楽しめるような体制・環境作りをしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員が時間や習慣を把握し、必要時トイレ誘導をすることでトイレでの排泄を促すと共に失敗を予防している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間は今の所職員が決め入って頂くようお願いしている。入浴を拒む人に対しては、言葉がけや対応の工夫によって一人一人に合わせた入浴支援を行っている	○	毎日入りたいとおっしゃる方も出てきており、可能な限り希望の時間に入れるような体制作りをしていきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者のマイペースを基に、1日の流れを整えるよう努めている。寝付けないときには、温かい飲み物を飲みながら話を聞く配慮をしている。場合によってはご家族、医師と相談し薬等で調整に努めている	○	一人ひとりが安心して入眠、休息できるよう個々の入居者の生活ケアでのかかわり方を見直す
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーションや外出、行事などを企画しており、その人にあつた役割、楽しみごとを引き出す支援に努めている。	○	入居者個々の生活歴に即した得意分野を発見しレクリエーションやケアに取り入れていく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散歩時等本人が希望した時は商店に共に行き、おやつ等好きな物を選び支払いを行うことを見守り、支援を行っている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天候、入居者の体調や様子をうかがい、外気にふれていただく機会をもうける様心掛けている	○	一人一人が場所や時間の希望にそつて外出出来る様支援していきたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠くへの外出については、あらかじめ計画を立て、職員の勤務を調整しながら行っている	○	利用者の思いや願いを叶えられるよう、場合によっては、ご家族の協力を依頼し、実現に向けた取り組みをしていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取りつぎ、手紙やハガキのポスト投函等、本人の希望時に対応している	○	人目を気にせず電話を使えるように、子機を持ち居室で話していただいている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入居者の使い慣れた家具等を置いた、生活感のある居室で、居心地良く過ごせるよう配慮し、笑顔でお迎えし、明るく挨拶している	○	来訪者には他人行儀な「いらっしゃいませ」ではなく、「こんにちは」、お帰りには「また来てください」ではなく、「お気をつけてお帰り下さい」と笑顔で、明るく挨拶するように指導しています
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を事業所内で実施し、職員の共有意識をはかっている	○	ミーティング等で毎日のケアを振り返り、自覚しない身体拘束が行われていないか点検していきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が玄関に出たら、さりげなく声をかけたり、一緒について行くなど、安全面に配慮した支援をしている	○	出て行く気配を見落とさない、連携体制の見守りに努めている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者数名は、ほとんどリビングで過ごされている。自室で過ごされている方に対しては、プライバシーに配慮しながら定期的な声かけや見守りを実施している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物など、危険性のある物はお預かりし、事務所にて保管しており、必要に応じて使ってもらっている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救命講習、社内研修により知識を学び対応し、誤薬防止にはスタッフ間で確認強化の実施をしている	○	ヒヤリハットに関する報告・記録が整理保存され、全社的な事故防止対策委員会が定期的に関催され、事故防止策を検討し、その内容を全職員が共有している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習、社内研修、訪問看護師による緊急対応講習が実施されている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、利用者と共に、防災避難訓練を実施している	○	消防署の協力を得て、避難訓練、消火器の使い方を学び、運営推進会議で地域の協力体制について協力を呼びかけたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	今後起こりうる事故、リスクに対して、ご家族に説明し話し合い、対応策を説明している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期受診や訪問看護師により体調管理しており、体調不良ある時は職員間で情報を共有し対応に努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方される都度、薬の説明書を確認し、内容を把握している。薬の変更がある時はノートに記載し、職員間に伝達する。異常が見受けられる時はドクターに連絡し、指示を受ける		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食前、牛乳等乳製品の提供をし、排便がない時は食物繊維等を多く摂取できるよう心がけ、離床時間を長くし、なるべく体を動かすよう声かけを行うなど、自然排便を促す工夫を、個別に行っている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声かけにて口腔ケアの支援を行っている。就寝前は義歯の管理、手入れを確実にを行うよう支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立メニューの提供を受けており、体重増減ある場合は量の加減を行っている。水分量は時間置きにチェックし摂取量が少ない場合は声かけ提供する		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	利用者、職員、来訪者には必ず入り口で、手洗いとうがいの実施を義務づけている。又利用者、職員ともインフルエンザの予防接種を受けている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具、ふきん、エプロン等の漂白、除菌、熱湯消毒をし安全管理に努めている	○	食材は新鮮な物を使うようにし、冷蔵庫や冷凍庫の食材の残りの点検を常に行っている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にディスプレイで飾り付けをし気軽な雰囲気に来て頂ける様に配慮している。	○	玄関先に花の鉢植えや観葉植物を置き、より親しみやすい雰囲気作りをする
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は、植物設置や飾り付けを行い、居心地良く過ごせる様な工夫をしている。テレビの音にはたえず注意を払い、日差しの強すぎるときにはレースのカーテンで遮り、落ち着いた雰囲気を保つよう心掛けている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの横に本棚を設置、畳のスペースには座卓、座布団を置き、入居者様同士、また一人でも過ごせるよう工夫している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、使い慣れた家具やなじみの物を持参してもらい、住み慣れた環境作りを行っている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日日報に昼間と夜間の温度・湿度を記録し、乾燥する冬期間は加湿器を設置して調整している。天気の良い日は窓を開け、空気の入換えを行っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室などに手すりの設置。浴室にはすべり止めマット等、安全性に配慮し工夫に努めている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口には目印になる物を置ける箱があり、トイレ、お風呂も明示されている。職員の写真・名前もわかりやすく掲示されている	○	出来てからまだ1年なので、壁にシミなど無いが、万一混乱を起こしそうな状態になったら、速やかに補修し不安や混乱を起こさない環境作りに努める
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	暖かい時期は天候を見て、ベランダや駐車場で昼食をとる等、気分転換を図って頂く		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ① ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ① ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ② ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ① ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

お互いに尊重し助け合いながら、家庭的な楽しい生活環境を創るよう努めています。「満足・喜び・幸福」を追求し、「みのり」ある生活を築けるよう事業所一丸となり取り組んでおります。